

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び実施効果

(円)

No	事業名	事業の概要	総事業費				事業開始 年月日	事業完了 年月日	成果目標	実施効果
			(A)	交付金充当 経費(B)	国庫補助額 (C)	その他(一般財源や 補助対象外経費等) (D)				
1	感染拡大防止事業	長引くコロナ感染症の中、マスクや消毒液等の追加消耗品や備品の購入を行うことで、感染拡大を防止する。	1,037,925	1,037,925	0	0	R3.4.1	R4.1.31	—	備品の購入で感染拡大防止に効果があったと考える。
2	情報発信強化事業	村HPを通して新型コロナウイルス感染症について情報を発信しているが、現在のHPではスマホ・タブレット表示未対応、文字拡大、音声読み上げ、多言語化等が行えず、村民や来島者に対し新型コロナウイルス感染症情報を含む各種情報の提供がしにくい仕様となっている為、村民の暮らしに関わる情報および新型コロナウイルス情報・災害情報等が迅速に掲載可能なサイト構築を目指し、今後起こり得る第4波以降についての対応強化を行い、また、新型コロナウイルス終息後を見据え、村民及び観光客等の健康と安全に役立つ情報ならびに観光情報や特産品情報等の地域活性化につながる情報が視覚的に発信しやすいデザインとし、情報発信力の強化を行う。	6,204,000	6,204,000	0	0	R3.4.1	R4.3.31	—	HPのトップ画面の上の部分に新型コロナウイルス感染症に対する情報が表示されるようになった。またスマホやタブレット等への表示、多言語対応、文字サイズの拡大や背景色と文字色の変更対応など、これまではなかった機能に対応できた。
3	隔離住宅整備事業	離島である当村では、新型コロナウイルス感染症患者が発生した場合には自衛隊のヘリ等での空輸が必要になるが、その間、あるいは天候不順の場合には数日にわたり新型コロナウイルス感染症患者を隔離する必要があるが、現状そのような施設が村内にはないため、隔離用の住宅を整備する。	18,022,510	18,022,510	0	0	R3.5.10	R4.2.4	—	整備後1度も使用することはなかったが、いざというときの安心感になったと考える。
4	健康管理システム導入事業	当村ではこれまで予防接種等を紙ベースで管理してきたが、システム化されていないことで、今回の新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種等に当たり、持病のある方などの把握がしづらい。システム化により、今後再度の新型コロナワクチン集団接種等の必要が発生した際に有効に活用できると考える。	3,806,442	3,806,442	0	0	R3.12.1	R4.3.31	—	導入後、新型コロナワクチン集団接種後のVRSへの入力等で役に立てることができた。
5	感染拡大防止支援事業	新型コロナウイルス感染症により経済活動に影響を受ける事業者への感染症防止強化策(アルコール除菌剤、マスクの配布)。	1,019,480	1,000,000	0	19,480	R3.9.1	R3.10.20	—	感染拡大防止に効果があったと考える。
6	水産物流通改善支援事業	新型コロナウイルス感染症に伴う、輸送船舶の運航中止の影響を受けた水産物の航空輸送費等に係る支援を行い、流通改善を図る。	214,632	214,632	0	0	R4.1.10	R4.3.31	水揚げされた水産物の2.5tの航空輸送	目標2.5tに対して実績1.7tであったが、経済効果はあったと考える。
7	小中学校PC導入事業	コロナの影響により教職員のリモートの研修・会議や、臨時休校等に備えてPCを導入し、離島における教育環境を整えていく。	1,401,400	1,401,400	0	0	R4.1.10	R4.3.31	教職員のリモートでの研修・会議への参加10回/年。	児童生徒1人1台のPC環境を達成できた。
8	給食物資等空輸事業	定期船内でコロナの感染が拡大したことにより、学校給食に使用する材料等が届かず、子ども達の学校給食提供に支障が発生したため、空輸対応を行い安心安全な学校給食の運営を行う。	75,000	75,000	0	0	R4.1.10	R4.1.31	給食実施100%。	給食実施100%を達成。
9	サービス事業者の休業等に伴う協力金交付事業	コロナウィルスの影響による緊急事態宣言に伴い、村の休業依頼、感染拡大防止対策に協力した宿泊施設・飲食店・サービス事業者に対し、協力金を交付する。	5,650,000	5,650,000	0	0	R2.7.3	R4.3.31	—	565万円の協力金を支払い感染拡大防止に協力して頂いた。(令和2年度からの繰越事業としたが、令和3年度は実績なし)
10	渡航者感染予防隔離支援事業	渡航者とその家族へ帰島後、原則2週間の自宅待機を要請しているが、家族の学業、仕事への影響を避けるため、渡航者の宿泊施設利用を奨励し接触のないようにするため、その負担額の一部を支援することで、感染拡大防止へと繋げる。	116,000	116,000	0	0	R2.5.1	R4.3.31	—	11万6千円分の隔離宿泊支援を行った。(令和2年度からの繰越事業としたが、令和3年度は実績なし)
11	感染拡大防止施設環境改善事業	住民検診等各種事業が実施される施設において、医療関係者の予防策や、施設の環境整備(換気機能)を行う事で感染拡大防止を図る。	9,615,644	9,615,644	0	0	R2.6.1	R4.3.31	—	パーティションやフェイスマスク等の購入のほか、換気機能付きのエアコンを整備することで感染拡大防止が図れたと考える。
12	リモート会議環境整備事業	渡航自粛が続くリモート会議等が増えているが、村内のインターネット環境では映像が途切れるなど十分な環境ではないことから、モバイル通信を利用したリモート会議が行える環境を用意する。	789,910	789,910	0	0	R2.9.30	R4.3.31	—	リモート会議を行うのに十分な機材が整備できた。
13	島外季節労働者に対するPCR検査等実施事業	本村の基幹作物であるサトウキビや、複合作物のジャガイモ等収穫時期になると労働者不足で島外からの季節労働の雇用により対応している。本村において、小規模離島であるが故に、医療体制が十分でないことから、感染が拡大すると医療崩壊をまねく恐れがあります。来島予定の季節労働者に安心、安全に働いて頂くよう、又村民も島外からの就労者対にしての不安を解消して頂くべく共に地域経済の維持、活性化を図る。 PCR検査を沖縄本島内で集団実施、実施日及び結果が出るまでの間指定宿泊施設に待機(宿泊管理)	783,372	783,372	0	0	R2.12.1	R4.3.31	—	島外季節労働者に対して、PCR検査費、宿泊費用の補助ができ、就労者に対する島民の不安解消に繋がったと考える。(令和2年度からの繰越事業としたが、令和3年度は実績なし)
合計			48,736,315	48,716,835	0	19,480				

※No.9～No.13は令和2年度からの繰越事業